

6 整備の方向性

(1) 全体の整備の方向性

毎日にぎわう空間

○イベントを開催しやすい空間の整備

- ・まとまったオープンスペースを活用して、大小様々なイベント広場や溜まり空間などを整備し、多様なイベントの開催しやすい空間の形成を図ります。
- ・イベント開催を容易にするとともに、イベントの設営期間を短縮することで、イベント以外での公園利用も促進します。

○新たな交流を生み出す空間の整備

- ・魅力的な広場や便利施設を導入し、新たな技術の実践の場としても活用することで、新たな来訪者を呼び込み多様な人々の交流を促す空間の形成を図ります。
- ・にぎわいを生み出す施設の周辺には、屋外で滞留することのできる空間を確保することで、来訪者同士の交流促進を図ります。

○日常的に訪れたい空間の形成

- ・栄地区への来訪者や周辺住民が都心の憩いの場として、平日も含めて日常的に利用したくなる滞在環境（ベンチなど）を確保します。
- ・公園の普段使いを促進する店舗等の便利施設を、沿道の商業施設との調和や地下施設への荷重影響などに配慮しながら、ゾーンの特徴に合わせた形で設置し、様々なサービスの提供を図ります。
- ・子どもたちも楽しむことができる広場を設置するなど、人とのふれあいや遊びなどを通してさまざまな体験を提供し、健やかな育ちを支援できる空間の形成を図ります。
- ・安心安全、快適に過ごせるよう広場、園路、照明等の配置に配慮するとともに、暑さ対策を施すことで、昼夜を問わず訪れたい空間の形成を図ります。



イベント時の利用イメージ



日常の利用イメージ
(PAXX?/名古屋市)



まちを歩きたくなる空間

○公園と沿道が呼び合う空間づくり

- ・植栽帯の地被類の整理や樹木配置の見直し、公園施設等を沿道・園路への圧迫感を極力軽減した規模・デザインとすることなどにより、沿道からの見通しやエリアとしての一体感を確保することで、公園のイベントのにぎわいが沿道へ波及するよう配慮します。
- ・沿道建物に設けられた公開空地や壁面後退区域等のスペースを居心地の良い空間へと誘導し、にぎわいを波及させる魅力的で開放的な空間の形成を図ります。
- ・公園の広場やベンチなどの溜まり空間を沿道側にも顔を向けるように配置するとともに、沿道側でもオープンカフェなどの休憩場所が提供されるなど、公園と沿道で実施される活動が互いに協調・連携することで、公園と沿道が呼び合う空間づくりに努めます。



公園と沿道が呼び合う空間のイメージ

○歩きたくなる魅力的な空間の形成

- ・憩いの場となる広場やにぎわいを生み出す施設を南エリアの適所に配置することにより、多様な人を惹きつけ、まちを歩きたくなる仕掛けを施します。
- ・沿道においては、各種制度を活用するなどして、沿道側の歩道空間をオープンカフェ等の様々な目的に利活用し、沿道建物の利用形態にあわせた魅力づくりに努めます。



各種制度活用のイメージ
(大手前通り／姫路市)

○快適に歩ける空間の整備

- ・地下鉄駅とのアクセス性を見直しなど、地上と地下をつなぐ機能の拡充を図ります。
- ・東西方向の道路については、広場間の行き来をしやすい、また路上駐車等を誘発しないよう、路肩に余裕のある一部区間の横断構成の見直しを図ります。
- ・南北方向の道路については、沿道の再開発の動向や道路空間活用の機運、今後の交通施策等を踏まえながら、将来的な道路空間の再編による歩行者空間の快適性向上や、公共交通やパーソナルモビリティ等の専用レーン設置についても継続的に検討します。
- ・駐輪場について、再整備後の施設利用者の自転車での来訪の増加や、既存の公園内駐輪場の利用者の利便などに一定配慮しつつ、再整備後の広場や歩行空間を十分に確保できるように、その数や設置場所を検討します。

6 整備の方向性

都心の憩いとなる空間

○自然を感じられる空間の整備

- ・久屋大通の南北全体に連なる高木の列植については保全することを基本とし、将来に向けて豊かで健全な樹木環境を確保する目的や、回遊性の向上など再整備に必要な場合には、既存の樹木の間伐・更新を行います。
- ・四季を感じる花木の植栽やデザイン性の豊かな花壇の設置など、季節感を楽しめる空間形成を図ります。



都心の緑のオープンスペースとして再整備された公園の並木や広場（東遊園地／神戸市）



デザイン性に富み季節感を楽しめる花壇（名古屋市）

○居心地よく過ごせる空間の整備

- ・都心にゆとりや開放感を与える貴重な空間であることを踏まえ、各ゾーンには一定規模のオープンスペースを確保します。
- ・来訪者が公園で散策や休憩をしたくなる園路やベンチなどを設置し、子どもから高齢者まで誰もが過ごしやすい工夫を施します。
- ・音、光、水の演出などにより、「やすらぎ」や「ワクワク感」をもたらす空間の形成を図ります。



散策・休憩したくなる園路・ベンチ

○良好な都市景観の形成

- ・公園施設等の配置は、シンボル性の高い南北軸を意識し、中部電力 MIRAI TOWERへのビスタ（見越し景観）の確保に努めるとともに、中部電力 MIRAI TOWERからの景観にも配慮したものとします。
- ・公園施設等のデザインは、久屋大通都市景観形成地区にふさわしい品位ある洗練されたものとし、沿道側にも顔を向けたものとします。



中部電力 MIRAI TOWER へのビスタ



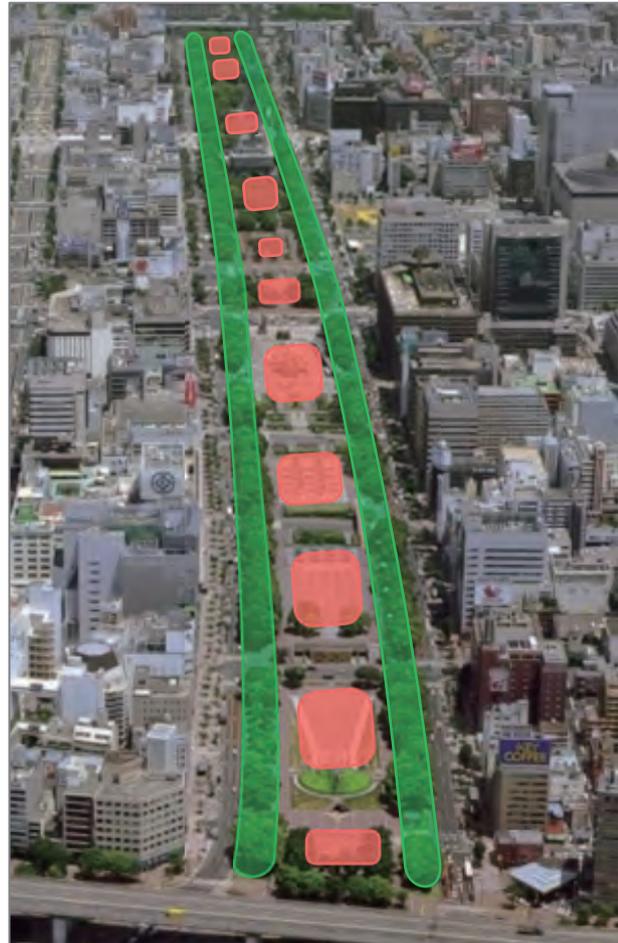
安心・安全な公共空間

○災害対策・防犯機能の強化

- ・戦災復興において、市街地の延焼防止などを目的として整備された久屋大通の歴史的経緯を踏まえ、伏見・栄地区都市再生安全確保計画に基づき、広域避難場所としての機能を確保するとともに、災害時における帰宅困難者の一時的な退避スペースや備蓄機能の確保に努めます。
- ・イベント開催時に使用する電源や給排水設備は、災害時のライフラインとしても活用します。
- ・沿道からの見通し改善や夜間照明を設置するなど、防犯性の向上に努めます。

○自然環境を活かした空間の継承発展

- ・生態系の回復に配慮した植栽や雨水浸透構造を持つ園路や広場の設置など、自然環境の持つ多様な機能を活用する「グリーンインフラ」の視点を踏まえた公園設計に努めます。
- ・都心部における緑地の保全によるヒートアイランド現象の緩和や、公園施設の省エネルギー化、再生可能エネルギーの活用といった脱炭素社会の実現に向けた取り組みに努めます。



南北全体に連なる高木の列植とオープンスペース

○多様な人を受け入れる空間の整備

- ・子育て世帯や障害のある方など、誰もが安心して利用できる、清潔で快適なトイレの設置・維持管理を行うほか、イベント時の利用も想定してトイレの充実を図ります。
- ・公園施設等の高低差や段差の解消・緩和など、バリアフリー化を進めます。
- ・案内看板などへのピクトグラムの使用や多言語対応など、ユニバーサルデザインの導入に努めます。



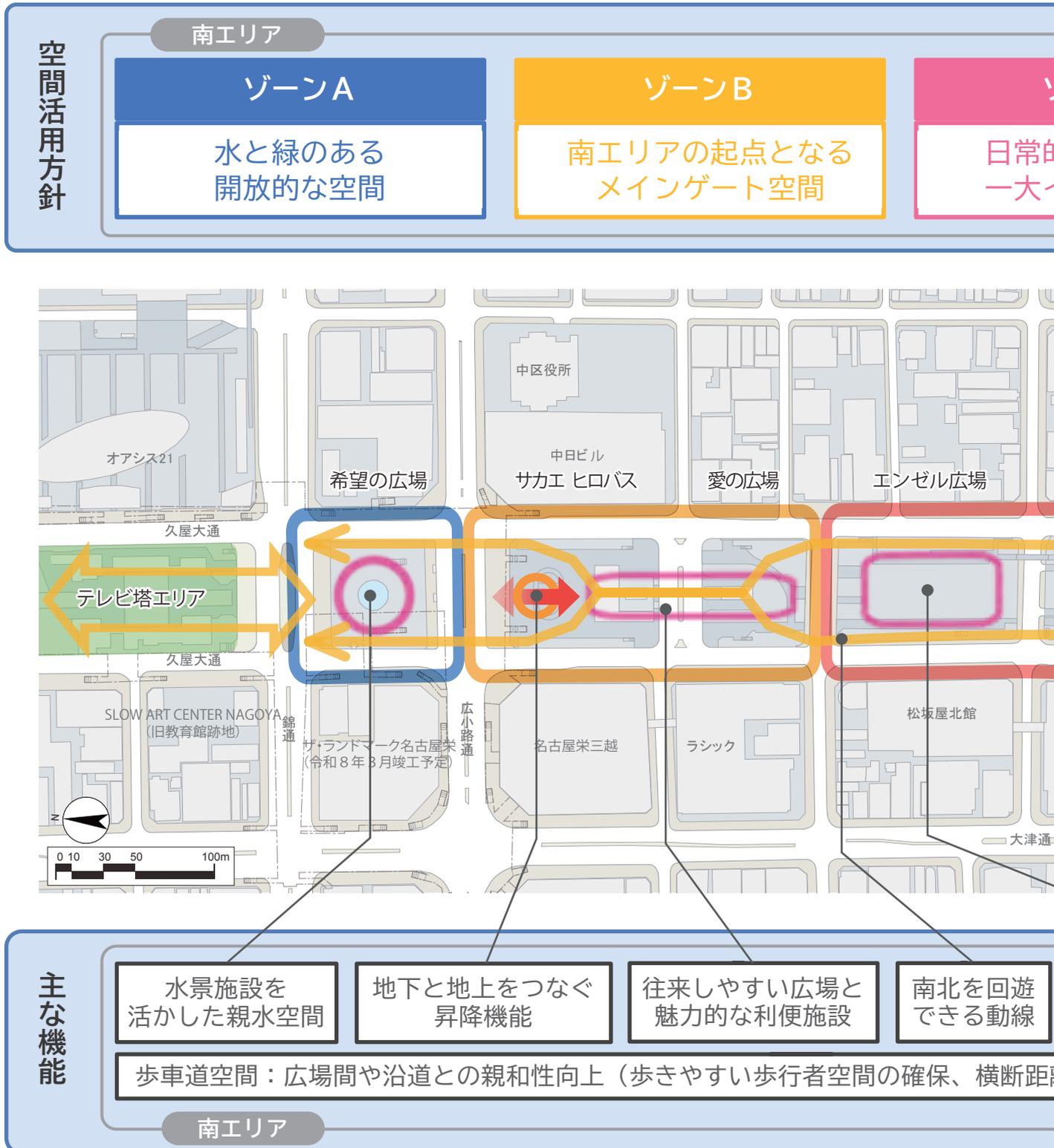
おむつ替えスペースなどを備えたトイレ
(ヨリマチ FUSHIMI/名古屋市) 出典：TOTO(株)

6 整備の方向性

(2) ゾーニングと主な機能

「新たな創造が生まれるウォークアブルタウンのコア」の実現に向けて、南エリアの4つのゾーンであわせて、堀留水処理センター上部空間（久屋大通庭園フラリエ含む）や若宮大通公園の周辺一帯に

【空間活用方針と主な機能のイメージ】





特性に応じた再整備を図ります。

ついで、栄地区と大須地区をつなぐ連携エリアとして位置付けます。

ゾーンC

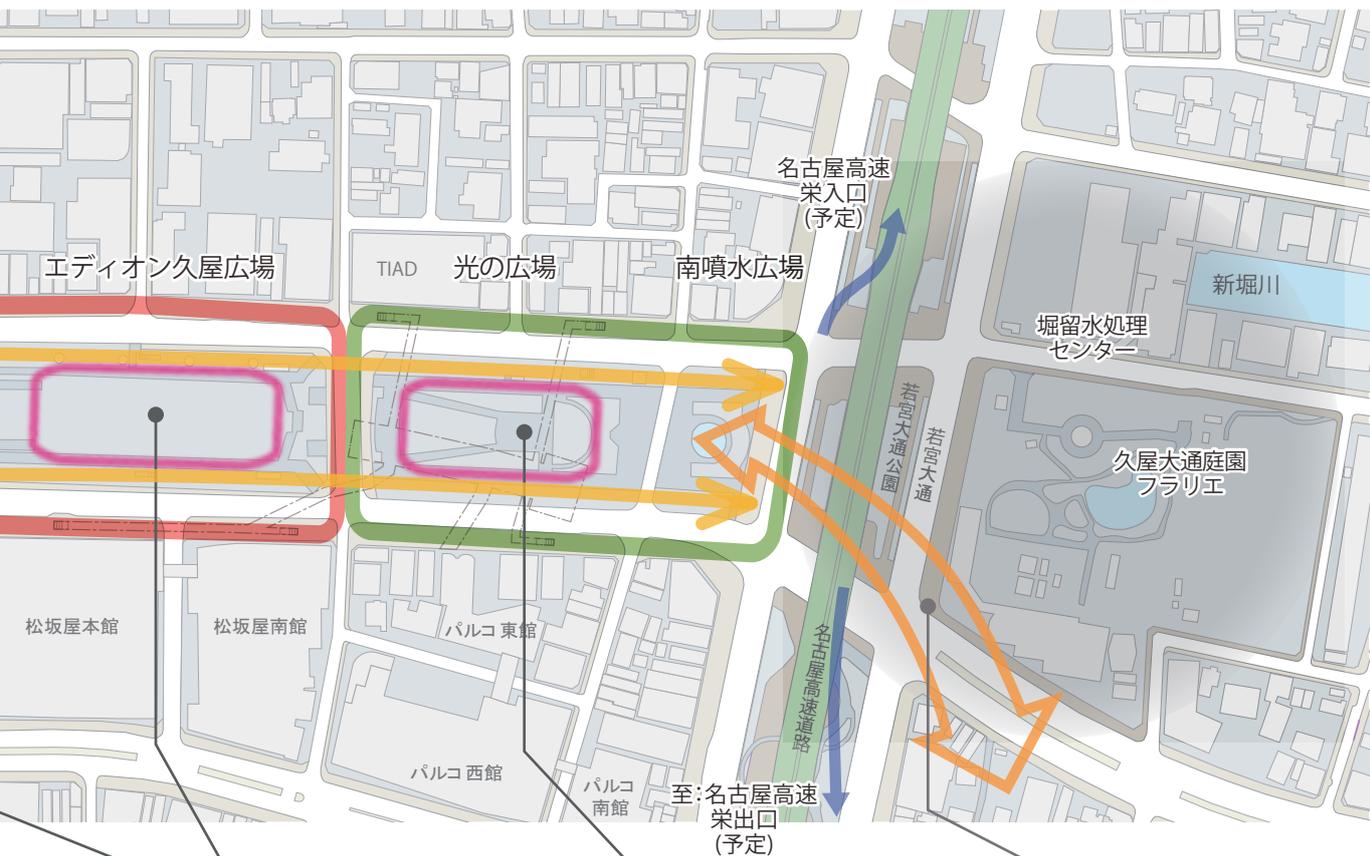
的ににぎわう
イベント空間

ゾーンD

新たな交流が生まれる
多目的空間

栄・大須の連携エリア

栄と大須の間の
人の流れをつなげる空間



イベント開催を容易にする
設備と日常的な休憩スペース

新たな交流を生み出す
魅力的な集客機能

フラリエ・大須方面
との回遊性

距離の短縮、幅員に余裕のある路肩空間の活用・見直し

6 整備の方向性

(3) 各ゾーンの整備の方向性

ゾーンA (希望の広場)

水と緑のある開放的な空間

栄地区の中心として、行き交いやすく、活気のあるシンボル空間とします。あわせて、水景やゆったりとくつろげる木陰の空間を確保することで、誰もが居心地よく利用できる広場空間を創出します。

【整備のイメージ】

○水景施設のあるシンボリックな景観の形成

- ・水景施設を活かした親水空間を整備し、栄地区の中心に位置する特性を踏まえた印象的な演出を施します。
- ・中部電力 MIRAI TOWERへの景観を意識するなど、広場のデザインを工夫することで、北エリア・テレビ塔エリアも含めた南北に延びる久屋大通の一体性・連続性を感じられる空間とします。



希望の泉（既存の水景施設）

○緑のある居心地の良い滞在環境の整備

- ・居心地の良い木陰の休憩スペースを確保し、来訪者が待ち合わせや小休憩などで滞留できる空間を確保します。
- ・多様な表現活動や気軽に人と集まることのできる溜まり空間とし、日常的なにぎわいの形成を図ります。

○開放感のある空間の形成

- ・沿道から公園への眺めを遮る植栽帯（地被類や樹木）を整理し、開放感のある空間とします。
- ・広場内を通り抜けられる十分な幅の園路を確保し、歩行者の快適性に配慮します。

○SRT（Smart Roadway Transit）の乗降・待合空間の整備

- ・当初運行として、名古屋駅 - 栄間を広小路通でつなぐ、東西ルートでは、栄を東西ルートの起終点として、ゾーンAにふさわしいシンボリックで開放感のあるデザインの上屋やデジタルサイネージ機能がある乗降・待合空間を整備します。

<SRTとは…>

- ・都心部における回遊性の向上や賑わいの拡大を図るため、まちづくりと一体となり、車両、乗降・待合空間などが相互に連携したシステムです。



SRT事業の展開イメージ



【再生イメージ】



<参考事例>



水景施設を活用した広場のイメージ
 (阪急西宮ガーデンズ/兵庫県)
 出典：神戸新聞 NEXT 記事



多様な表現活動のイメージ
 (武蔵野樹林パーク/所沢市)
 出典：×ART スタートアップガイドライン(経済産業省)

6 整備の方向性

ゾーンB (サカエ ヒロバス、愛の広場)

南エリアの起点となるメインゲート空間

来訪者を地下街から地上の広場へわかりやすく誘導し、南エリアをはじめ、栄地区への新たな人の流れを生むきっかけとなる空間とします。
あわせて、店舗などの利便施設がにぎわいを生む滞留空間を創出します。

【整備のイメージ】

○地下から地上へ人を吸い上げる昇降機能の導入

- ・地下街と地上をつなぐ昇降機能を導入することで、地上へと人の流れを誘導します。
- ・昇降機能を導入する際に久屋駐車場の改修を実施する場合には、現在、駐車場が担っている地下街の荷さばき機能が確保されるよう検討します。

整備イメージ



地下街から地上への人の流れのイメージ（断面図）

○往来しやすい広場の整備

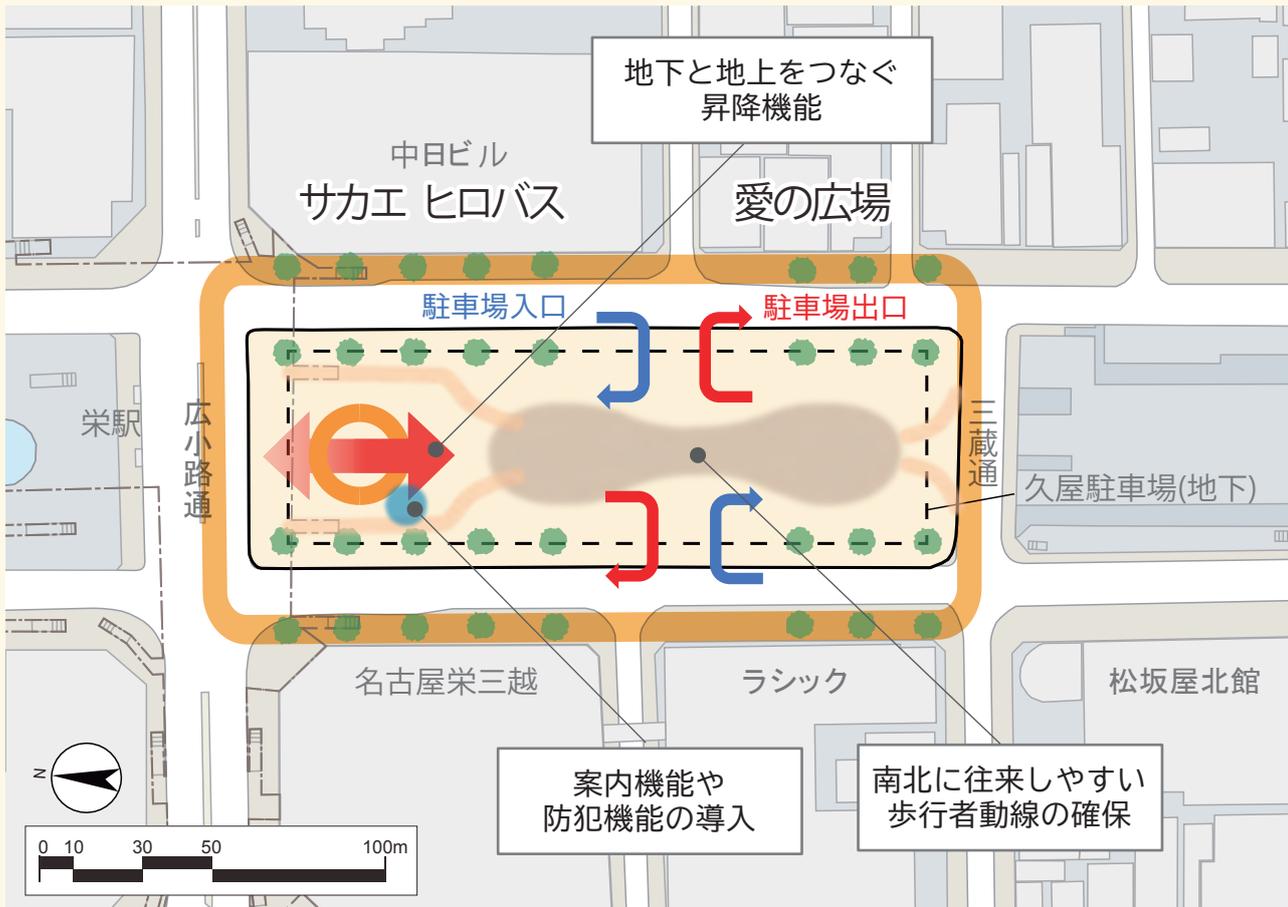
- ・東西方向の道路の見直しにより、歩行者と自動車の動線を分離し、南北方向に行き来しやすい広場の形成を図ります。

○にぎわいを生む利便施設の設置や栄地区の防犯機能の導入

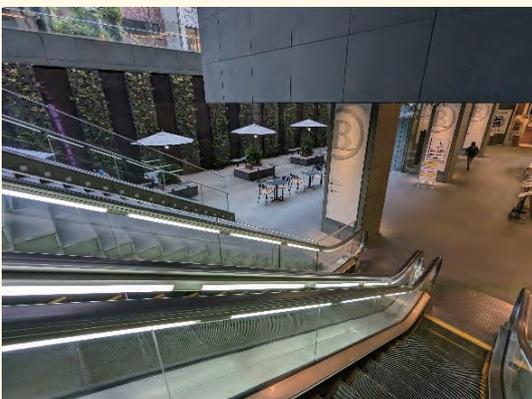
- ・にぎわいを生む魅力的な利便施設を設置し、まちを楽しむきっかけとなる空間の形成を図ります。
- ・公園案内窓口を備えた管理事務所や防犯施設など、メインゲートにふさわしい案内機能や防犯機能の導入を検討します。



【再生イメージ】



<参考イメージ>



地上と地下をつなぐ昇降機能のイメージ
(プロッサ(アーバンネット名古屋ビル) / 名古屋市)



にぎわいを生み出す魅力的な便利施設のイメージ
(上野公園 / 東京都)

6 整備の方向性

ゾーンC

(エンゼル広場、エディオン久屋広場)

日常的ににぎわう一大イベント空間

市内外から多くの来訪者を受け入れられるような、名古屋を広く発信する大規模なイベント空間とします。

あわせて、イベント時だけでなく、日常的に訪れ自由に時間を過ごせるような普段使いのできる空間を創出します。

【整備のイメージ】

○大規模なイベント空間の形成

- ・大型イベントの開催も可能なフラットでまとまりのある広場を確保します。
- ・イベント開催を容易にし、イベントの設営期間を短縮することによる広場の活用機会の拡大を図ります。
- ・既存の連絡橋（エンゼルブリッジ）を活用することで、南北の広場間をつなぐ機能を確保し、一体的なイベントの開催を促進します。

○広場の日常利用の促進

- ・広場の周辺には、オープンカフェなどの休憩スペースを導入し、広場の日常利用を促進します。

○公園と沿道の隔たりの緩和

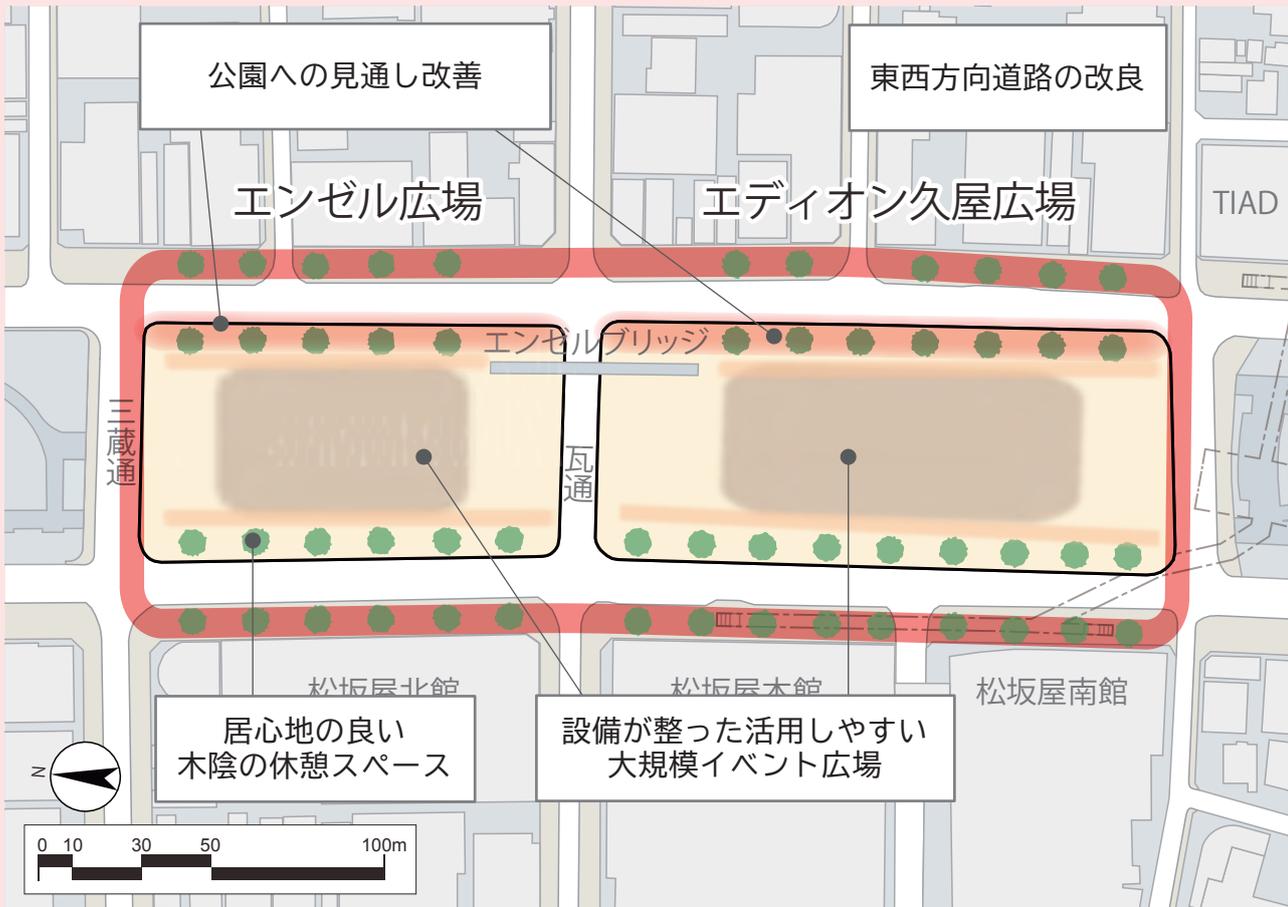
- ・沿道との高低差が大きい公園東側において、沿道から公園への眺めを遮る植栽帯（地被類や樹木）の整理を検討します。
- ・東西方向道路は、自動車の通行機能を確保しつつ、歩行者の安全性と快適性に配慮した改良により広場間の親和性の強化を図ります。



オープンカフェ等休憩スペースのイメージ
(南池袋公園／東京都)



【再生イメージ】



<参考イメージ>



(エディオン久屋広場／名古屋市)



(上海嘉里中心／中国 上海市)

発信力のある大規模イベント空間のイメージ

画像提供(右)：久屋大通再生有識者懇談会 牧村真史委員

6 整備の方向性

ゾーンD (光の広場、南噴水広場)

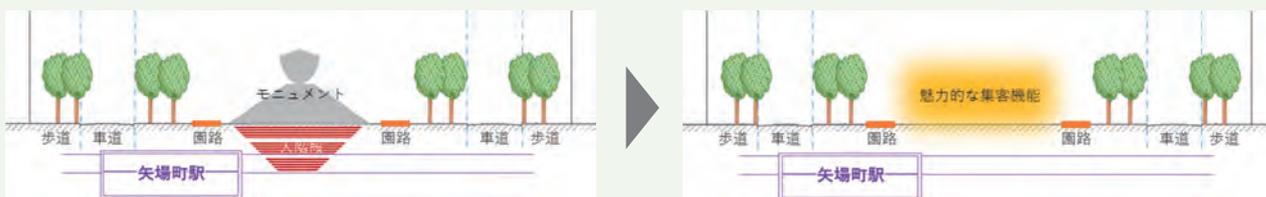
新たな交流が生まれる多目的空間

新たな来訪者を呼び込み多様な人々の交流を促すことで、人々の出会い・交流を通じたイノベーションが創出される空間とします。
あわせて、アクセス性を見直し、駅や広場と周辺のまちとの人の流れをつなぐ空間を創出します。

【整備のイメージ】

○新たな交流を生み出す魅力的な集客機能の導入

- ・ 広場や園路の確保など公園としての機能を保ちつつ、新たな来訪者を呼び込む魅力的な集客機能を導入することで、様々な交流の促進を図ります。
- ・ 災害時に来訪者を安全に避難誘導できる拠点としての活用も想定します。



立面イメージ（左：現状、右：将来）

○周辺地区への回遊の起点の形成

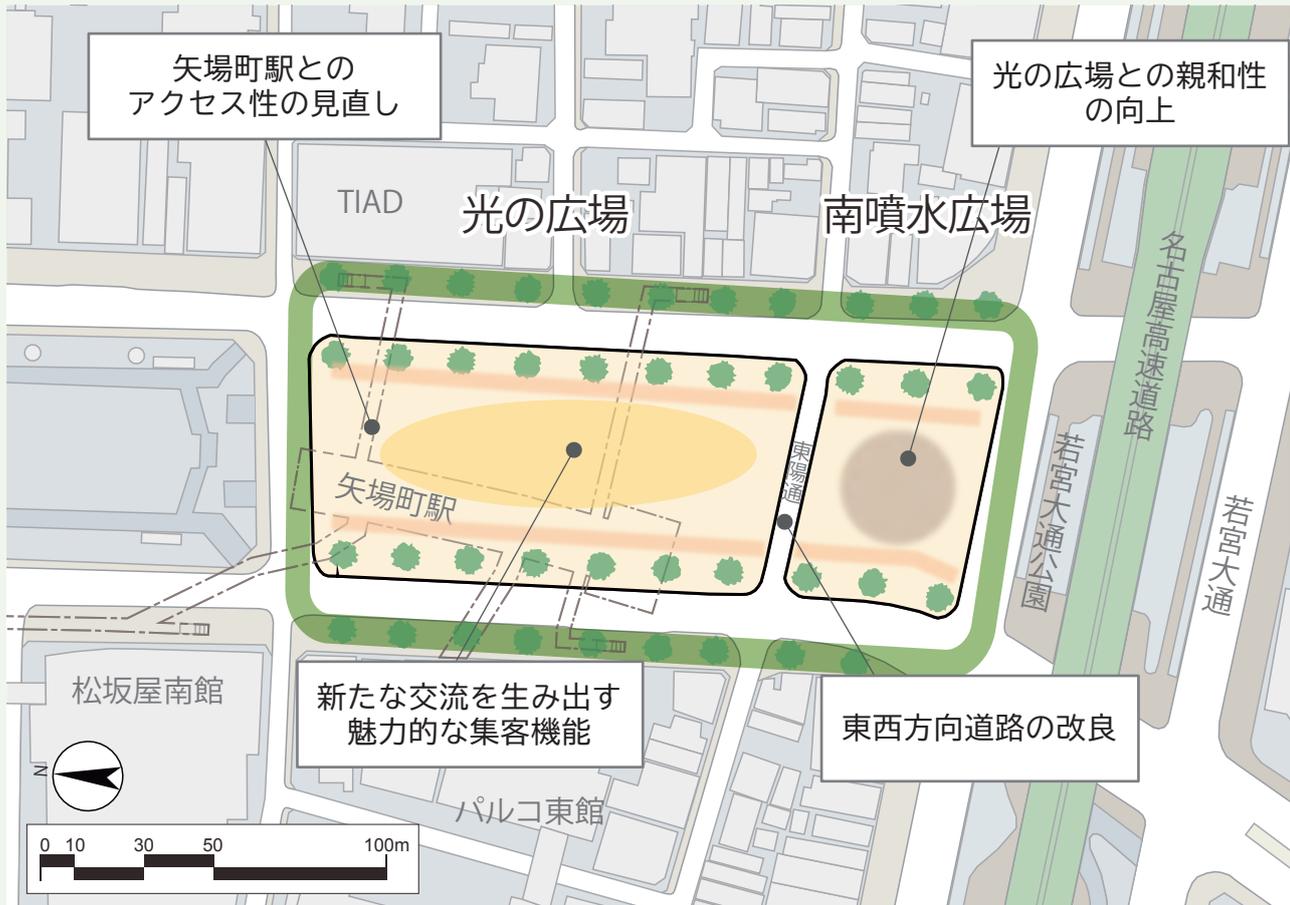
- ・ 矢場町駅とのアクセス性を見直すことで、周辺のまちとのつながりの起点を形成します。
- ・ 東西方向道路（東陽通）は、自動車の通行機能を確保しつつ、歩行者の安全性と快適性に配慮した改良を行うことで、広場間の親和性を強化します。

○久屋大通の南の入口にふさわしい空間の形成

- ・ 居心地の良い木陰の休憩スペースを確保します。
- ・ 既存の樹木は基本的には残しながら、沿道から公園への眺めを遮る植栽帯（地被類や樹木）の整理を検討します。



【再生イメージ】



<参考イメージ>



周辺の景観と調和した集客施設のイメージ
(長岡リリックホール／新潟県長岡市)



人の流れをつなぐ空間のイメージ
(中池袋公園／東京都)

6 整備の方向性

(4) 栄・大須地区の拠点間の連携

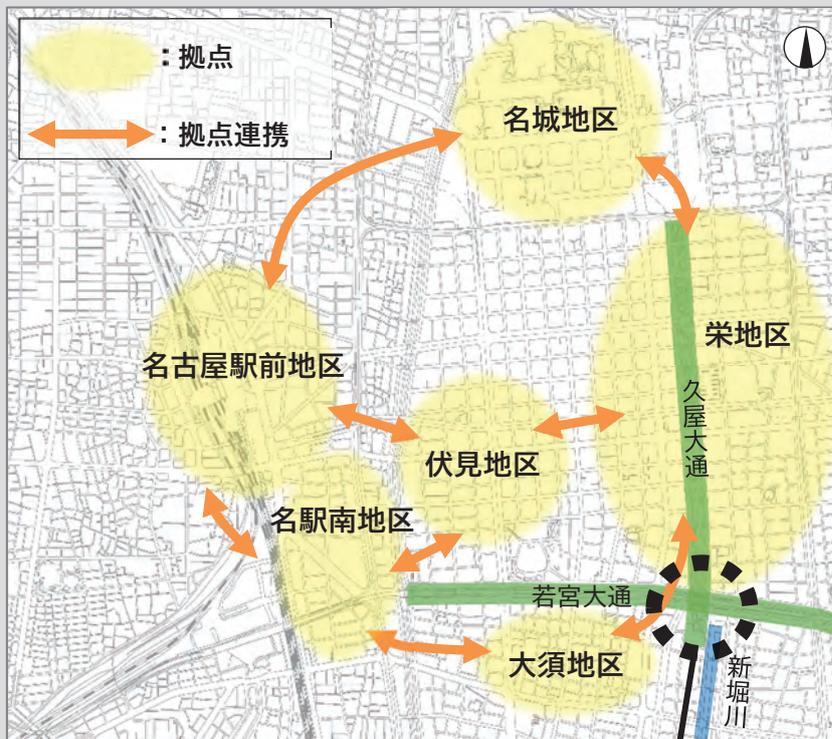
栄・大須の連携エリア

栄と大須の間の人の流れをつなげる空間

栄地区と大須地区の間の回遊性向上や、南エリアからのにぎわいの波及を図るため、久屋大通の南側における各種施策を連動させることにより、栄と大須の間の人の流れをつなげる連携エリアの形成を図ります。

【連携エリアの立地】

■名古屋都心部の拠点間の連携



■連携エリアの立地の特徴

- ・栄地区と大須地区の間に位置し、都心部まちづくりビジョンにおける拠点間の連携を高めるエリアに位置付け
- ・名古屋交通計画2030におけるSRTの周回ルートの一部に栄-大須を位置づけ
- ・2本の100m道路（久屋大通・若宮大通）と都心の貴重な水辺空間（新堀川）による都市軸のクロスポイント
- ・都心部の自動車交通機能を担う名古屋高速道路と若宮大通
- ・若宮大通公園や久屋大通庭園フラリエ等の豊富なオープンスペース





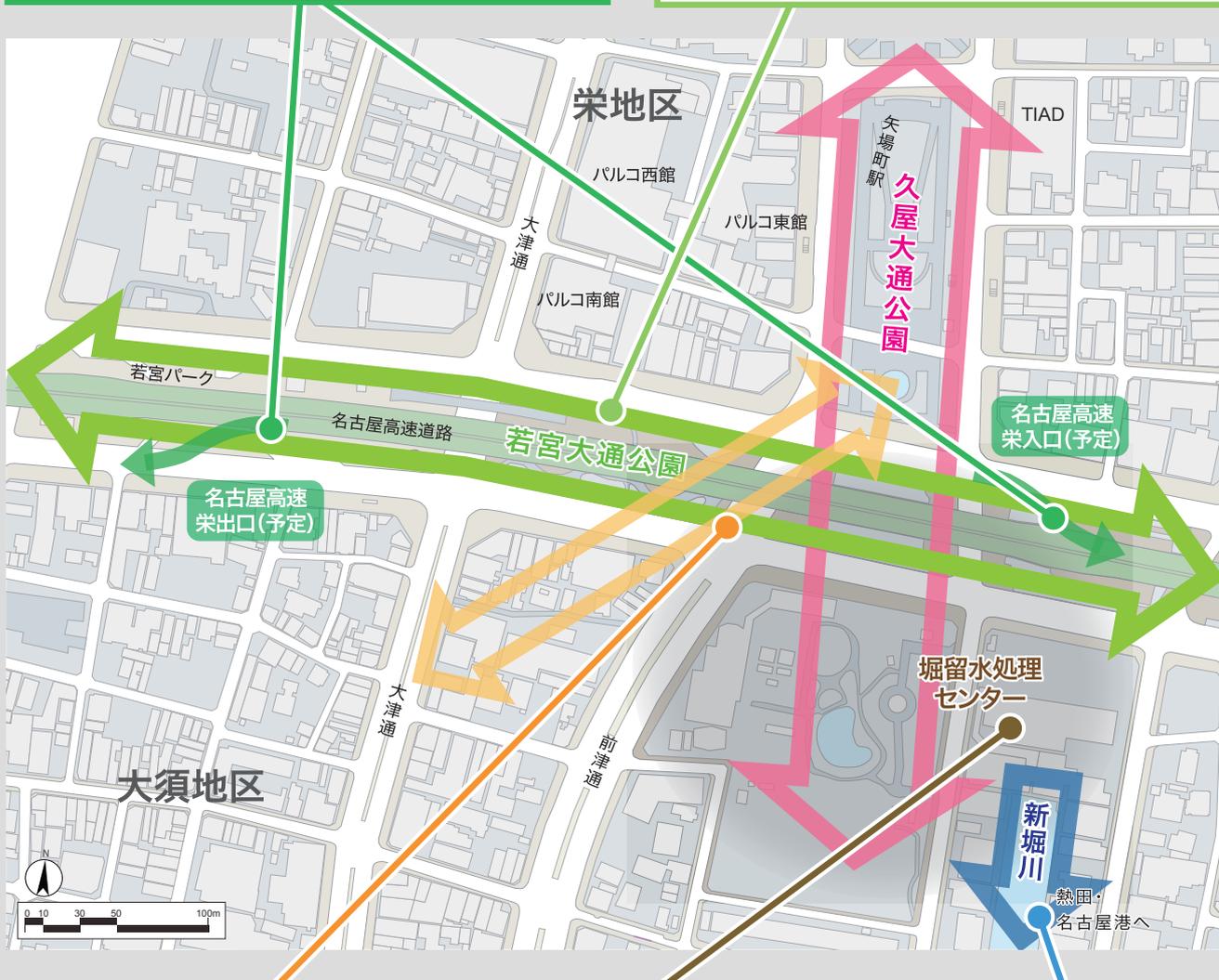
【栄・大須の連携エリア付近における施策】

○名古屋高速栄出入口

名古屋高速道路に栄出入口を新設することにより、都心部へのアクセス向上を図るとともに、都心部駐車場のフリンジ機能を発揮することで、自動車の都心部への集中緩和を進めます。

○若宮大通公園

これまでの利用状況を踏まえ、周辺と一体感のある魅力的な公園となるよう再整備の検討を進め、久屋大通の再生によるにぎわいの波及を図ります。



○栄・大須の回遊性

若宮大通公園の再生、堀留水処理センター上部空間等、周辺施設の施策を活かしつつ、栄・大須間の回遊性向上に資する施策について検討します。

○堀留水処理センター上部空間等

商業エリアに近接する立地条件を活かしつつ、水処理センターの廃止をふまえながら、更なる魅力の向上に資する施策について検討します。

○新堀川

悪臭改善やさらなる水質改善を図り、都心部の貴重な水辺空間としての活用を検討します。